



▲火入れ式の様子



▲砂鉄や木炭を投入する様子

## 令和初の炎 日刀保たたら操業

1月22日、鳥上地区の日刀保たたらで、火入れ式が行われ、令和初となるたたら操業が行われました。

火入れ式には、公益財団法人日本美術刀剣保存協会、日立金属安来製作所などの関係者約30人が出席し、玉串をささげて操業の安全と成功を祈願しました。

安全祈願のあと、技師長の村下を務める木原明さんと渡部勝彦さんが土や粘土で築いた炉に「初種」と呼ばれる砂鉄を投入し、続いて木炭をくべると炉から激しい炎が上がりました。

1回の操業には、砂鉄10トン、木炭12トンが使用され、3昼夜に亘り、砂鉄と木炭を交互に入れる作業が続けられます。25日の早朝には、炉が壊され玉鋼を含む鉄塊の鋸を取り出す作業が行われました。

たたら操業は、2月8日まで合計3回行われ、約9トンの玉鋼が生成されました。できあがった玉鋼は、全国の刀匠へ提供され、日本刀の原料となります。

## 奥出雲町消防出初式 防火・防災意識を新たに

1月11日、奥出雲町消防出初式が町民体育館で行われ、消防団員436人が出動し、防火や防災への意識を新たにしました。

式典では、各種表彰のほか、退団者に感謝状が贈られました。式典後、役場仁多庁舎前で分列行進が行われました。当日は、天候にも恵まれ、駆けつけた町民が見守る中、力強く行進する姿を披露しました。その後、斐伊川護岸道路に移動し、今年1年の無火災を祈り、一斉放水が行われました。今年の一斉放水は、横田地域の分団により実施されました。

なお、今年の7月に安来市で開催される、第64回鳥根県消防操法大会には、ポンプ車の部に横田分団、小型ポンプ車の部に亀嵩分団がそれぞれ出場することが決定しています。



▲斐伊川護岸道路での一斉放水の様子

## 木次線をまもろう、たくさん使おう 横田小4年生がポスターを作成

横田小学校の4年生が1月17日、社会科学習の一環でJR木次線をテーマにしたポスターを作成しました。31日に沿線自治体などで行く木次線利活用推進協議会へ寄贈され、協議会の会長を務める勝田町長が受け取りました。

地域の鉄道であるJR木次線にまつわる歴史や文化、木次線の活性化をテーマに作成されたポスターは全7枚。「木次線をまもろう」「木次線をたくさん使おう」などのタイトルをつけて、町内の公共施設に掲示される予定です。

ポスターを贈る様子



▲勝田町長と横田小学校4年生の皆さん



## 目指せ！東京五輪日本代表 横断幕のお披露目について

1月8日、今年7月に開催される東京オリンピックに向け、ホッケー競技の男女日本代表候補選手に選ばれている横田高校出身者を応援するため、候補選手11名の名前が刻まれた横断幕が役場仁多庁舎に設置されました。

当日は、丸山鳥根県知事、鳥根県ホッケー協会会長、勝田町長が出席するなか、「めざせ日本代表！」の掛け声で横断幕のお披露目されると参加者から大きな拍手が起きました。

勝田町長は、「小さな町から11名も候補選手に選ばれたことは誇りです。後輩に夢を与えてくれたことが嬉しい。応援の機運を盛り上げていきたい。」と話しました。

2月の時点で男子33名、女子44名が全国の候補となっており、代表メンバー男女各16名が正式に決定するのは、5月末になります。



▲除幕式の様子



奥出雲町ホッケー応援キャラクター

## 世界、全国の舞台に挑む選手を激励



1月31日、横田コミュニケーションセンターにおいて、男子ホッケーユース(U-18)にユージーランド遠征、第75回国民体育大会冬季大会スキー競技、令和元年度全国高等学校総合体育大会スキー競技、第57回全国中学校スキー大会、第42回全国スポーツ少年団剣道交流大会に出場する9選手の合同激励式が行われました。

勝田町長から「体調を万全に、持てる力を発揮して夢の舞台に臨んでください。」と励ましの言葉が送られました。

続いて各選手から決意表明があり、「日ごろの練習の成果を出したい」「支えてもらった皆さんに感謝し、大会に挑みたい」など意気込みを述べました。

また、スキー競技に出場する選手の皆さんからは、「今シーズンは雪が少なく、練習不足を感じているが、全力で頑張りたい」と暖冬による雪不足に苦慮する状況を踏まえた決意表明となりました。



U18男子日本代表ニュージーランド遠征 横田高校男子ホッケー部 石田超弥さん(2年) 松島貴也さん(3年) 佐伯郁未さん(3年) 二澤未来也さん(3年)



第75回国民体育大会冬季大会スキー競技 景山寛樹さん(横田3年) 令和元年度全国高等学校総合体育大会 景山慎平さん(横田高1年) 第57回全国中学生スキー大会 景山和葉さん(横田中2年)、石原凜さん(横田中2年)



第42回全国スポーツ少年団剣道交流大会 井上響喜さん(仁多中2年)